マイ★★オピニオン
意見・私見

「釣りの魔力」

「1時間幸せになりたかったらお酒を飲みなさい。3日間幸せになりたかったら結婚しなさい。永遠に幸せになりたかったら、釣りをおぼえなさい。」中国の古い諺だそうです。さかな釣りはそれほど面白いもののようです。

釣りの何がそれほど面白いのか、考えてみたいと思います。まず、予測がつかないところ。同じ場所で、同じ方法でやってもぜんぜん釣れない日もあります。初心者がベテランでさえめったに釣ったことのないような大物をゲットすることがままあります。次に何が起こるか分からないというのが飽きない一番の原因です。次に、釣堀での釣りを除いて、すべて自然の中での活動なので、常に多少の危険を伴います。海に落ちたり川で流されたりして貴重な命を落とす釣人の例は枚挙にいとまがありません。

私も若い頃アユ釣りをしていて深みにはまり、竿を担いで泳いだ経験があります。そのようなことのないよう、すべて自己責任で対処しなければならないことの快い緊張感を感じます。人は少しアブないことにひかれるのでしょう。

三つ目に、釣りは遊びではありますが、大漁の時にはいかにも稼いだ実感があります。給料が振り込まれてもあまり実感がありませんが、大量のクーラーを見せれば家人はにこにこします。魚嫌いの人は余りいないので、お裾分けすればたいがいの人はよろこびます。まだまだありますが、字数制限があるのでこの辺で。

顔戸区集落館長　小湊　眞

「岡山 ゲートボール大会」

例年岡山公民館最初の事業となる「ゲートボール大会」。今年は田植えも一段落ついた6月7日に行われました。昨年から会場を桑名川なかよし公園に変更したことから、公園内にあるコースを使ってのマレットゴルフ大会も開催され、賑やかさを増しています。

岡山地区には7つの集落がありますが、今年の参加チーム数は12チーム。毎年増えているだけでなく、わけしょだけのチームも温井と藤沢から参加してくれています。会場では景気づけをしているチームもあり、やじが飛び交う普通の大会とは違う雰囲気に包まれます。

決勝トーナメントに進んだのは上境、桑名川、下境といった毎年優勝争いをする強豪チームですが、同時に行われるわけしょチーム同士の戦いのほうにも注目が集まります。今年は温井チャレンジャーズが勝利。来年から温井ビクトリーズに改名することとなりました。

岡山公民館

飯山市美術館
美術講座を終えて…

去る7月4日、飯山市美術館ロビーにおいて、美術講座『東山魁夷について～作品の魅力とその生涯～』が開催されました。

この美術講座では、長野県信濃美術館学芸課学芸係長・岸田惠理先生を講師としてお迎えし、昭和期を代表する日本画家のひとりである東山魁夷の作品の魅力や人気の秘密などについてお話をしていただきました。

岸田先生のお話は、魁夷が幼少のころから絵を見たり描いたりすることを好んでいたということから始まり、東京美術学校への進学からドイツ留学、戦時中の過酷な体験、更には信州との関わりにも触れていただきました。

特に、戦時中に召集され迫撃二等兵となり、九州の地で爆弾を抱えて戦車に突撃する訓練を続けていたという魁夷の経験談は印象的でした。それは、明日の命の保障もないある日、普段はそれほど気にも留めることのなかった風景が「美しく輝いて」見えたという出来事で、この経験が後の画業に大きな影響を与えたのではないかというお話でした。

また、信州との関わりについては、「私の作品を育ててくれた故郷とも言える長野県」と魁夷自身が述べているだけでなく、代表作が多く描かれていることから見ても画家と信州との出会いがいかに重要であったかが伺えます。

今回、スライドで作品等を見ながらお話をしていただきましたが、今後、東山魁夷館に足を運んで是非本物の作品に触れていただきたいと思います。

人権学習シリーズ

「他を思いやる心」

飯山市 PTA 連合会長　丸山　正広

先日テレビで「ともだちをたすけたゾウたち」という本の紹介をしていました。この本は皇太子妃の雅子様がお子様の愛子様にプレゼントしたことで有名な本ですが、東京多摩動物公園の実話が題材になっています。

当時、三頭のゾウ、雄のアヌーラと雌のタカコとガチャコが飼育されていました。ある日アヌーラが病気になってしまい、飼育係がバナナの中に薬を入れて食べさせようとしましたが食べず、ゆっくり休ませようと部屋に沢山のわらを敷きましたが横にもなりませんでした。重くて大きな体のゾウは、病気の時に横になると二度立てなくなり、絶命してしまうとわかっているからです。

ある日、横にもなれずにどんどん弱っていくアヌーラを、倒れないよう両脇から他の二頭が協力して支える姿がありました。最初の一週間は二頭で、その後は交替で二頭ずつ支えて元気になるまで看病し続けたそうです。それまでゾウが病気のゾウを看護するという例は、聞いた事がなかったそうです。私は思いやりの心や優しさをゾウが持っている事に驚くばかりか感心し、そんな動物の素朴な行動から人間が教わる所は大きいと思いました。

人間は自分の利益になるかどうかを考えがちで、他の仲間の為に尽くす行動は面倒くさいとか格好悪いと思ってしまいますが、このゾウに見る助け合いの心から学ぶ事は多く、とても心の温まるお話でした。

そんなお話から思い出す事は、私が高校生の頃吹雪の中、家に帰る途中、おばあさんとすれ違いました。傘もささず帽子もかぶっていなかった私を見て、そのおばあさんは自分が巻いていたストールを私に巻いてくれました。今考えれば、どのお宅のおばあさんかわからなかったのが残念ですが、人から受けた優しさは何年経っても、いつまでも覚えているものです。

ところで、本当の友達はいますか?本当の友情を育てるのには、優しいふりをしているだけではなく、「困った時にお互い様。」と自然に助けられると良いと思います。そんな友情を何よりも大事にして、その人からの友情に値するだけの人になってください。子ども達には仲間を当たり前の事として助けることができる「他を思いやる心」を日々の生活の中で培ってほしいと思います。

飯山市ふるさと館

9月8日～11月23日開催
ふるさと館 特別企画展
「奥信濃飯山の仏さま」展

島崎藤村に「さすが信州第一の仏教の地」と言わしめた、信仰の篤い飯山。この地域で大切に守られてきた仏像や絵画を一堂に集めて展示します。

▷木造勢至菩薩立像（上町区）

飯山ふるさと検定 公式ガイドブック発刊

平成21年度版を発刊いたしました。受検してみようと思われる方は、公民館とふるさと館にありますのでお申し出ください。第3回目となる今年は、上級認定の方が3名おられますので、初のマイスターが誕生しそうです。あなたも遊び心でチャレンジしてみませんか。

寄贈資料一覧
3月～6月

◇小山新太郎 様
『秋津学校百歳誌』
◇高橋純・強子 様
『雛人形』
◇丸山勝三 様
『戦時報国債券』2点
『支那事変割引国庫債権』
『大東亜戦争割引国庫債券』
『貯蓄債券』
『戦時貯蓄債券』
◇江村侃 様
『雛人形』
◇長瀬秀子 様
『製麺機』3点
『雛人形』
『五月人形』
◇関谷征夫 様
『火鉢』

▷戦時報国債券